

2025年 さわやか通信



OWLS NEWS



つちや

品子



■ 2025年 春の特別号 ■ 編集・発行：自民党埼玉県第十六選挙区支部

■ お問い合わせ先：春日部市粕壁東2-3-40グレースヒル橋本101

TEL:048-761-0475 FAX:048-763-3475 e-mail:otayori@owls.jp WEB:www.owls.jp/shinako

■ 土屋品子オフィシャルサイト・Facebook・X (旧Twitter)・選挙ドットコムページはこちらのQRコードから！



少数与党として迎えた通常国会

1月24日に招集された通常国会では、少数与党として非常に難しい国会運営が続いています。その中で、来年度予算案を4月までに成立させるために、野党側との協議や予算案の修正など、様々な対応をしています。私も予算委員の一人として責任を持って進めてまいります。

また昨年年第216回臨時国会でも焦点となった「政治とカネ」の問題です。政策活動費の廃止や第三者機関の設置を盛り込んだ政治改革関連法が成立しましたが、今国会でも依然として不記載問題の全容解明には至っていません。このため、引き続き真相解明と再発防止策が求められています。国民の皆さんにご理解いただくためにも真摯な姿勢で説明をしてまいります。



昨年10月まで復興大臣として責務を果たすため全力を尽くしてまいりました。現場主義に徹して被災地を頻繁に訪問し、知事、市町村長のみならず、復興の現場で活躍している多くの方々から直接お話を伺い、意見交換しました。また国会においても、これまで衆議院議員として積み重ねてきた経験や人脈を総動員し、復興を一步でも前へ進めていけるように努めました。今後とも一政治家として被災地に寄り添い、復興が成し遂げられるよう、引き続き尽力していきます。

衆議院議員総選挙後の11月に自民党国際局長に就任しました。今年1月の米国トランプ大統領就任から、ウクライナやパレスチナでの紛争問題が複雑化し、世界情勢が混沌とした状況が続き世界経済の先行き不安も広がっております。そのような中で、各国と連携し多種多様な問題を解決していけるよう、しっかりと取り組んでまいります。

一方、エネルギー・物価高騰を乗り越えるためにも、減税や子育て支援を通じて、皆さまの負担を減らし、春日部駅付近連続立体交差事業、地下鉄7号線延伸、東埼玉道路延伸の事業といった地域の課題改善をさらに推し進め、16区全体が活性化するよう頑張っております。

衆議院議員 土屋品子

衆議院議員在職25年表彰 つちや品子 9期の歩み

令和6年11月13日に衆議院議員在職25年の表彰をしていただきました。その活動の歩みを振り返ります。

1 期

初の小選挙区比例代表制による衆議院議員選挙で初当選



初当選しました！

中選挙区制に代わり、小選挙区比例代表並立制が導入された最初の選挙になった1996年の第41回衆議院議員総選挙に無所属で立候補して、初当選しました。

皆さんの応援が励みとなって初当選できたことに感謝と責任を感じつつ、社会に活力を与えることのできるさわやかな政治を目指す決意を新たにしました。

初質問は予算委員会の総括質疑で

初質問の舞台は、衆議院予算委員会の総括質疑、全閣僚が勢ぞろいし、質問に答えるというものでした。

学校教育への環境教育カリキュラムの導入、高校教育へのホームヘルパー養成講座カリキュラムの導入、教員採用時の企業や福祉施設での研修の義務付けなど3点について、提案型の質問をしました。

総理をはじめ、文部、厚生、環境の各大臣から前向きな答弁をいただきました。

外務大臣政務官に就任

初当選からちょうど6年目に自民党に入党し、小泉内閣において外務大臣政務官を拝命しました。

3人の政務官が担当地域を決めて対応するのですが、私の担当地域はヨーロッパ全域と中南米諸国になりました。これまで培ってきた人脈も生かして、予防外交上の観点からも積極的に関わりました。

自民党政務調査会的外交部会長に就任

自民党政務調査会的外交部会長に就任し、日本にとっての国益とは何かを考え、与党の外交政策責任者としての責務を果たすべく努力しました。

またODA資金の用途について厳格に審査する必要があると考え、東南アジア3か国を訪問、スマトラ沖地震による被害状況を把握し、合わせて支援の在り方について協議するためにスリランカも訪問と、世界中を回りました。

環境副大臣に就任しました

第1次安倍内閣で環境副大臣に就任しました。

ASEAN+3環境大臣会合やパリ会議など国際的な環境政策や枠組みに関する会議・会談に参加し、日本の果たすべき役割の重要性を再認識しました。



セブ島で開催のASEAN+3環境大臣会合

2 期



小泉内閣で外務大臣政務官に就任しました

3 期

4 期

自民党副幹事長、環境委員会筆頭理事、そして厚生労働副大臣に就任

皆さまのおかげで再選を果たすことができた5期目は、自民党副幹事長として党全体を俯瞰して見ることで多くを学ばせて頂きました。

同時に就任した環境委員会筆頭理事では、環境行政が国民生活に密着しているだけに「拓けた視野」と「細部に心を配る」という両方の視点が大事だと考えて活動しました。

そして翌年には厚生労働副大臣に就任し、スイスで開催されたWHO総会に政府代表として出席し、医療・介護の取り組みや今後の高齢化社会への対応策、グローバルな貢献等についてスピーチをしました。



厚生労働副大臣に就任しました

5 期

衆議院外務委員長に就任

衆議院外務委員長として、在外公館に関する法律の改正、日本とモンゴルの経済協定などの条約の承認などを進めました。また多くの外国要人や各国駐日大使とお会いして、お互いの理解を深める活動をしてきました。

自民党総務副会長・女性活躍推進本部長に就任

自民党の意思決定機関である総務会の副会長として、党の中での様々な政策の最終決定に関わっていきました。また女性活躍推進本部長として、女性の活躍しやすい社会を作るために尽力しました。



衆議院本会議で外務委員長報告

6 期

アジア・太平洋地域初のWPLサミット、そしてG20サミット

日本国会代表団団長兼実行委員長として、WPL(女性政治指導者)サミット2019に参加しました。3日間に亘るサミットでは、「SDGsを通じて社会の発展に向けてアクションを起こそう」を主要議題に、世界約80カ国約350人の世界各国の女性政治家が一堂に会して意見交換や優れた取り組みの紹介など行いました。

またG20大阪サミット2日目に「女性のエンパワーメントに関する首脳特別イベント」が開催され、WPLサミット実行委員長として会場へ足を運びました。G20議長である安倍晋三首相がG20共通の女性活躍政策の方向性や具体策について報告するなどの進展が見られました。

アジア・太平洋地域で初めてのWPLサミット開催は非常に名誉なことであり、女性のリーダーシップ向上に向けて日本社会に対する力強いメッセージになりました。



G20大阪サミットにて

7 期

裏面へ続く



8 期

復興大臣として 復興を前に進める

令和5年9月に第2次岸田改造内閣にて復興大臣を拝命、その重責を果たすために全力を尽くしてまいりました。被災地に足しげく通い地元の方々と対話を重ね、首都圏に避難されている方々にも対面し、課題を解決するために取り組んでまいりました。この間に、特定帰還居住区域復興再生計画の認定、そして除染の開始ができたほか、タイ・ベトナムにおけるトップセールスでは地域の魅力発信に取り組み、三陸・常磐ものをはじめとする地元製品の潜在力を再確認いたしました。また、第2期復興・創生期間以降における東日本大震災からの基本方針の3年目見直しに取り組むとともに、第2期復興・創生期間後の復興施策の在り方について、有識者の方々の意見を聞き、被災3県の御意見も伺いながら検討を進めました。

翌令和6年10月に退任しましたが、今後も復興庁が現場主義を徹底し、残された課題と向き合い復興が加速していくことを期待するとともに、私自身も一政治家として被災地も復興が成し遂げられるよう、引き続き応援していく所存です。



出典：首相官邸ホームページより



福島第一原発の視察



千年希望の丘相野釜公園にて献花



You
Tube

土屋品子公式YouTubeチャンネル
「しなチャンネル」では活動報告や季節の料理などを配信しています！



9 期

在職25年表彰 そして自民党国際局長に就任

衆議院議員在職25年の永年表彰をいただき、本会議にて謝辞を述べました。その後、衆議院議長、副議長、議院運営委員長、同理事会の議員の方々に永年表彰表祝行事を行っていただきました。私をこれまで長きにわたって支えて頂いた地元後援会や支援者の皆さまに心より感謝申し上げます。

そして自民党の「外交の顔」であり、各国との関係強化や党の国際的な発信をするという重要な役割を担っている自民党国際局長に就任しました。政府と連携しながら、日本の国益を守るための外交活動を推進していきます。



衆議院にて在職25年の表彰



自民党国際局長室にて



ウクライナ情勢の勉強会

OwlsClub 登録者募集中!

QRコードからご登録いただければ、ライブ配信などの様々な企画に無料でご参加できます。メールアドレス・お名前・住所(市町村まで)・性別・年齢のみのご登録です。

